

Reライフ

LIFE 人生充実

www.asahi.com/relife/

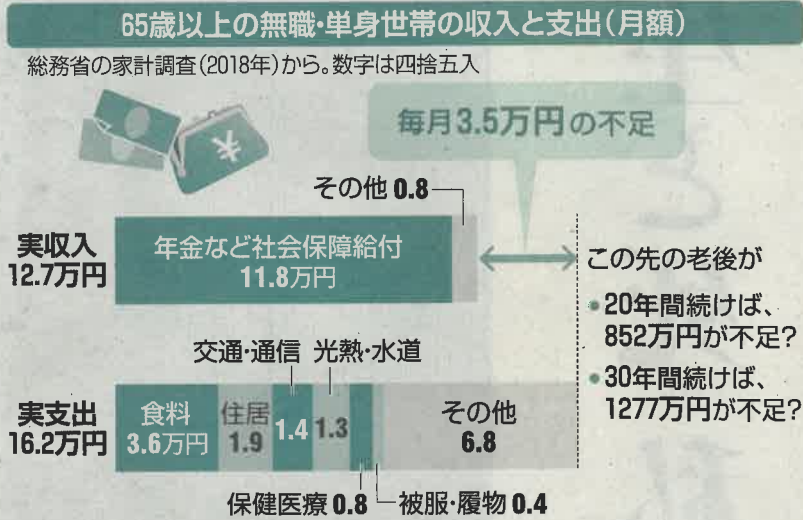
家計の担い手失ったら…

遺族年金 受給に細かい要件



老後の生活費が2千万円不足とした金融庁の審議会報告書が波紋を広げています。夫婦の場合、配偶者に先立たれた後の年金はどうなるのでしょうか。専門家は、早めに将来設計して備えることが大事だと言います。

そもそも、ひとり暮らしの高齢者の暮らしぶり？



乾いた洗濯物しかみないあなた！
一冊の本を最後のページしか読まないのと同じよ。

「終わりよければ全てよし」なんていうけれど、結果を生むための道のりこそ大事。本は全部読みましょう！洗濯もたまには自分で。

何から考えればいいのか。社会保険労務士の音川敏枝さんは「まずは公的年金」という。直近の簡易生命表によると女性の2人に1人は90歳まで生きる。「一生続く公的年金は、高齢期の生活を支える大切なお金。事前に仕組みを知り、自分が受け取れる年金額を理解しておく対策につながります」

公的年金には遺族年金という制度がある。これは、家計の担い手を失った家族の生活を支えるためのものだ。厚生労働省によると、受給者の98%は女性。夫を亡くした妻の場合、どんな年

報告書は「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯」の平均データを使って、2千万円をはじき出した。仮に同じ前提で、65歳以上の無職・単身世帯を見るとどうなるか。収入と支出の差である「赤字」は月約3.5万円(2018年)。報告書で示された夫婦の場合の不足額(月約5.5万円)よりは小さくなる。仮に配偶者に先立たれた後の暮らしが、この状態で20年間続くと考えれば852万円の不足、30年続けば1277万円が不足する、ということになる。

2種類に大別 ◆ 収入や子の有無・年齢が関係

夫に先立たれた後、妻が受け取れる年金は？

それぞれ加入期間や年齢などの受給要件がある

	子ども(原則高校生以下)がいる	子ども(原則高校生以下)がいない
自営業だった夫が死亡(国民年金のみ加入) <input checked="" type="radio"/> 遺族基礎年金 遺族基礎年金の金額 月約6万5千円+子の加算(第2子までは1人あたり約1万8700円など)		✗ もらえない
サラリーマンだった夫が死亡(厚生年金に加入) <input checked="" type="radio"/> 遺族基礎年金と遺族厚生年金 遺族厚生年金の金額 原則として、死亡した人が受け取るはずだった厚生年金の報酬比例部分の4分の3		○ 遺族厚生年金

ポイント

配偶者に先立たれた後の年金がどうなるか、仕組みを知って試算し、対策を立てる

元気なうちはできるだけ働き、老後に備える

よく理解しないまま投資の勧誘などに決まてのらない

金を受け取れるだろうか。遺族年金は、「遺族基礎年金」と「遺族厚生年金」に大別される。亡くなった夫の職業によって、受け取れる年金が変わる。夫が自営業などで厚生年金に加入していなかったなら、遺族厚生年金は受け取れない。遺族基礎年金は、原則として高校生以下の年齢の子も(障害があれば20歳未満)がいる場合のみ受け取れる。18歳になった年度末を過ぎると受給できなくなる。金額は子どもの人数で変わる。

会社員サラリーマンの夫が亡くなったときに受け取れるのが、遺族厚生年金だ。原則として、夫が受給するはずだった年金の報酬比例部分の4分の3が支給される。妻が国民年金なら4分の3、妻が厚生年金で65歳以降に自らの年金を受け取り始めたなら妻自身の方が優先的に支給される。もし遺族厚生年金の額が多ければ、差額を支給されるのが基本的な仕組みだ。いずれの年金にも「遺族の年収が850万円未満」「再婚すると受け取れなくなる」など、それぞれ細かく受給要件が決まっている。亡くなったのが妻の場合、別な条件が加わる。

複雑な制度に対し、音川さんは「友人などから聞いた話をもとに『夫の年金の6割がもらえる』と思っていて、実際は、不確かな知識で思い込んでいる人も多い。一部の加算は段階的に減額・廃止されることを知らず、自分の親世代の年金をイメージした人から『え、こんなに少ないの?』と驚かれることもある」という。

「このため音川さんは、『将来の『万が一』に備えて、1人になった後のことも事前に考えておく必要がある』という。全国の年金事務所のほか、全国



加藤 登紀子の

ひらり一言

(中村靖二郎)